

**指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)**

**1. 基本事項**

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム こだなか	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 中川徳生会 ・代表者名 理事長 高橋 栄治郎 ・住所 横浜市都筑区南山田2丁目39番35号	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

**2. 事業実績**

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員50人) 在籍者数 48人(平成28年3月31日現在:入院等不在者を含む)							
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
	利用者数	2	5	11	17	13	0	48
	②通所介護事業(通所定員 20人/日) 年間延べ利用者数 3,121人:定員に対する稼働率 59.1%							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	延べ利用者数	225	238	250	277	243	259	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	延べ利用者数	266	281	281	260	252	289	
	③短期入所事業(定員 2人 ) 年間延べ利用者数 664人:定員に対する稼働率 91%							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延べ利用者数	85	66	59	48	58	69		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
延べ利用者数	43	35	46	60	42	53		
④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成28年3月分)								
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	
管理者数	15	5	1	2	3	0	26	
収支実績	①特別養護老人ホーム事業 (収入)				(支出)		(単位:円)	
	介護料収入	151,031,021	人件費	121,665,768	利用者等利用料収入	36,514,415	事業費	25,363,713
	その他の事業収入	629,954	事務費	45,188,087	合計	188,175,390	合計	192,217,568
	合計	188,175,390	(収支差額)	▲ 4,042,178				
	②通所介護事業 (収入)				(支出)			
	介護料収入	26,943,985	人件費	24,795,133	利用者等利用料収入	2,325,000	事業費	3,335,032
	その他の事業収入	259,920	事務費	3,805,670	合計	29,528,905	合計	31,935,835
	合計	29,528,905	(収支差額)	▲ 2,406,930				
	③短期入所事業 (収入)				(支出)			
	介護料収入	5,775,033	人件費	3,584,631	利用者等利用料収入	1,564,280	事業費	824,836
	その他の事業収入		事務費	1,422,243	合計	7,339,313	合計	5,831,710
	合計	7,339,313	(収支差額)	1,507,603				
	④居宅介護支援事業 (収入)				(支出)			
	介護料収入	7,121,135	人件費	9,407,132	利用者等利用料収入	0	事業費	
	その他の事業収入	1,440	事務費	568,070	合計	7,122,575	合計	9,975,202
	合計	7,122,575	(収支差額)	▲ 2,852,627				
	(収入)				(支出)			
	介護料収入	190,871,174	人件費	159,452,664	利用者等利用料収入	40,403,695	事業費	29,523,581
	その他の事業収入	891,314	事務費	50,984,070	合計	232,166,183	合計	239,960,315
	合計	232,166,183	(収支差額)	▲ 7,794,132				

サービス向上の取組	<p>食事に関して、ご飯はおひつを使用し、適温での食事提供に努め、また、日々の生活に楽しみを感じられるよう花見、花火大会鑑賞、夏祭り、コンサート、地域の小学校運動会への参加、保育園児の受け入れ等を実施している。</p> <p>通所介護では、利用者等の希望を反映し、温かいご飯と汁物を提供するとともに、提供する飲み物の種類を増やすことで、選ぶ楽しみに繋げ、最終的に必要な飲水量を確保するなど、工夫しながらサービスの向上にも繋げている。</p> <p>特別養護老人ホームでは、利用者にあった入浴方法を検討、改善を行い、また、ショートステイの受入から退所までのフローを見直し、サービス利用期間中の状態を手紙にして提供している。</p>
-----------	--

### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	3	6	
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか				
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか				
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8	
感染症への対策は適切に行われているか						
<p>(評価の理由)</p> <p>栄養管理において、栄養マネジメント加算を算定し、嗜好調査を年1回実施し、利用者のニーズ把握に努め、また、毎日の食分量、水分量を把握し栄養状態を管理している。</p> <p>希望により施設での安らかな最期を迎えることができるような看取り介護について、御家族及び嘱託医と連携しながら対応している。</p> <p>また、地域の保育園、幼稚園、小学校との交流の機会を設け、ボランティアの受け入れも利用者のレクリエーション活動に活かしている。</p> <p>健康管理を適宜行い、異変があった場合等には迅速な対応を日頃から心がけている。また、健康診断は誕生日に実施、胸部レントゲンを年1回、ポータブル持ち込みにより実施、感染症対策については、感染症マニュアルを整備し、勉強会開催、各フロアへの感染症グッズ設置等を実施している。</p>						
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3	
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか						
<p>(評価の理由)</p> <p>オムツ業者に協力を得て、職員向けの排せつ介助研修を行い、技術力アップ、コスト削減に繋げている。</p> <p>委託業務の契約に関しては、見積合わせにより、委託先を決定し経費削減に努めている。</p> <p>今年度においては、お亡くなりになった方が全体の半分程度となり、施設での利用者確保が追いつかない状態で収入の確保に繋がらない状況であった。</p> <p>通所介護では、中重度の利用者を受け入れに努め、また、ショートステイの利用については、積極的に地域に出向き、入所及び利用に繋げている。</p> <p>金銭管理においては、事務担当者、相談員、施設長の複数名で適正に確認、管理されている。</p>						
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	3	6	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
			業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	3	6	
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)						
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか						
<p>(評価の理由)</p> <p>排泄の個別ケアとして、尿測を行い適切な排泄時間の管理、パッド選定の工夫等によりコスト削減に繋げている。</p> <p>施設入居者がお亡くなりになった後においては、カンファレンスを開催し、また、看護師主導によるスタッフのメンタル、介護技術、介護知識、病気の知識等勉強会も併せて開催し、職員向けアンケートもを行い、不安解消に努めている。</p> <p>利用者にあった入浴方法に配慮し、利用者の満足が得られている。</p> <p>ショートステイの受入から退所までのフローを見直し、利用者等に分かりやすく工夫するとともに、利用期間中の状態を記載したものを家族に伝達している。</p> <p>希望により施設での安らかな最期を迎えることができるような看取り介護について、家族及び嘱託医と連携し、対応している。</p> <p>新規利用者や家族から、スタッフの名前と顔が一致しないという指摘に対し名札を付けても介護に影響がない方法を講じるなど迅速な対応に努めている。</p>						

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
		実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
		個人情報の管理は適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>利用者の要介護状態が重度化しているため、介護職1名を加配し体制強化を図り、また、入職後、1年間のOJTの実施、キャリア段位制度の導入、介護支援専門員、介護福祉士資格取得のバックアップ等、職員の育成にも力を入れている。</p> <p>施設長、相談室長、看護師、介護支援専門員、管理栄養士、介護副主任による月1回のミーティングを行い、施設における課題、問題点を確認し、共有、解決に努め、また、関係者内において情報の共有に努め、また、月1回開催の事故防止委員会で事故原因の分析、対策を検討し、周知、共有化を図っている。</p> <p>施設長を統括責任者とした事故防止委員会を設置し、事故原因の分析、対応策、改善策の検討、事故防止策の周知徹底、マニュアル作成、介護事故防止に向けた研修を計画、実施。</p> <p>また、法令遵守研修に参加した職員が勉強会を開催し、関係者への周知に努めている。</p> <p>個人情報の管理については、OA機器のパスワード設定、ファイル保管場所の施錠等、厳重に管理している。</p>				
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
		<p>(評価の理由)</p> <p>委託業務については、業務項目ごとに修繕記録、点検記録、報告書をファイリングし管理している。</p> <p>また、部署ごとに業務日誌を作成し、通所介護は日報により情報を共有。</p> <p>施設内外の整備においては、随時、担当スタッフが植栽、除草、伐採を行い、近隣の方が不快に思うことのないよう配慮に努めている。</p> <p>水及びサイバイバルフーズ等を備蓄し、災害時に備えている。</p>			

#### 4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

特別養護老人ホームにおいては、今年度退居者が多く、新規利用者の確保が追いつかず、施設の安定した運営に繋げることが困難な状況が見受けられた。また、日頃からの備えにより、感染症の発生を防止した。

普段から、施設相談員、ケアマネジャー、看護師、管理栄養士、介護職員等の他職種連携、また、病院、区役所、地域包括支援センター等関係機関との効果的な連携を意識した施設運営に努めている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし